

図書館だより



2017年(平成29年)
7月24日・月曜日

第3号

北海道旭川永嶺高等学校
図書館

長期貸出のお知らせ

いよいよ、待ちに待った夏休みになります。図書館では、7月25日(火)まで開館しています。

開館時間は、12:45~13:20と

放課後~16:45です。

長期貸し出しなので、一人10冊まで借りられます。

返却は8月25日(金)までです。この機会にぜひ利用してください。



読書感想文の書き方

宮川俊彦という国語作文教育の先生は次のような書き方を推奨していました。参考になるかも知れません。

1. 本の中から《テーマ》をさがそう。「これについて書いてみよう」と決める。
2. きみの《意見》を書こう。「私はこう思う」と自分が思っていることを書く。この意見は短くていい。一行だっていい。
3. 「なぜなら」と書いて《理由》を説明しよう。どうしてそう思ったのかを説明する。
4. 「たとえば」と書いて、実際の《例》をあげよう。これは、ひとつだけじゃなくて、いくつもあったほうがいい。そのほうが説得力がある。こんなことがあった。こんなこともあった……、というように、たくさんあげてみよう。
5. 「もしも」と書いて、考えを次々に《展開・吟味》しよう。こんなふうにしてみたら、こうしてみたら……、と見方や考え方を広げたり変えたりしていく。
6. 「だから」と書いて、きみの結論を《まとめ》よう。

夏とウナギ

最近毎日とても暑くて、本格的に夏到来と言った所ですね。夏バテや熱中症対策にすることは人によって様々だと思います。

さて、1772年頃から日本で暑い時期を乗り切るために栄養価の高いウナギを食べるという習慣が続いています。

ウナギを夏に食べる土用の丑の日の由来は一般的に、平賀源内が発案したというものが通説です。商売が上手くいかないウナギ屋が源内にどうすれば売れるかと相談をしに行った所源内が『本日丑の日』と書いた紙を店先に貼るように勧め、言われたとおりにしてみるとそのウナギ屋は大変繁盛したそうです。そこから他店が真似をして、どんどん定着していったそうです。

ウナギ料理には様々なものがあり、例えばシンプルでかつとてもポピュラー、タレが美味しく王道を往く蒲焼き。お茶漬けのようにすることで味の変化を楽しめるひつまぶし等です。

ウナギというものは中々値段が高く、家庭の食卓に並んだり、外食に行ったりすることも少ないと思います。幸いスーパーマーケットやコンビニエンスストアで安く買えますのでこの機会に食べてみてはいかがでしょうか。



今年の土用の丑の日は、7月25日と8月6日です。この夏はとても暑いと言われてますが頑張って暑さを乗り切りましょう。ただ、夏バテ防止の為にウナギを食べるのは医学的根拠に乏しいとされ根拠はあまり無いらしいですが…。

局員のおすすめの本

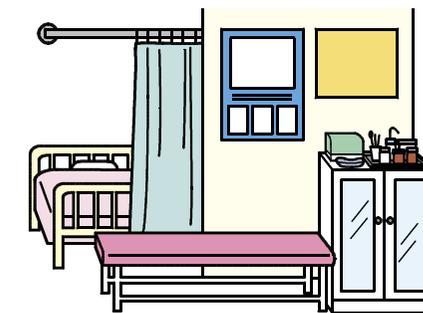
世界から猫が消えたなら

請求記号 913 K

著者 川村元気

出版 マガジンハウス

キャベツという愛猫と一緒に生活している主人公。彼に脳腫瘍が見つかり、余命があと数日と宣告された。玄関を開けるとそこには自分そっくりなアロハシャツを着た悪魔が……。



「寿命を延ばしたいか??」
「なにか世界からものを消したら延ばしてやる!」
その悪魔の言葉の通り、彼は世界から一つものを消すのと引き替えに寿命を一日ずつ延ばしていった。

しかし、彼はものを消していくたびにそのものの大切さに気づき始めた。ものを消すことに対し、抵抗感を覚え始めたとき、悪魔は僕に言った。

「猫を消したらどうだ?」彼の選択とは……。

読書感想文用の図書候補の一冊にいかがでしょうか?



